

神幸行列200人歴史絵巻

加古川・神吉八幡神社



神幸行列で下の宮にたどり着いたみこしとシテ振り―加古川市西神吉町大園

神吉八幡神社（加古川市西神吉町宮前）では恒例の神幸行列が行われ、境内から約2キロの下の宮（同町大園）まで約200人が往復し、歴史絵巻を展覧した。行列は同神社に残る祭礼絵巻に基づき、約150年前から続くとされる伝統の神事。35年ほど前に復活したという。

太鼓や、サクラに見立てた飾りの「奉桜花」、鉄砲を手に護衛を務める「御徒」役の子どもらが頭人を先導した。みこしは6年ぶりに神吉地区が担

当。所々でシテ振りの児童が「チヨサ」と

兵庫県花「のじぎく」にちなんだ銘菓
 欧風と和風をミックスした味

野公館の里

御菓子司老舗 本店 高砂市 電話079(442)1737(代)

柴田最正堂

声を上げると、氏子らは「チヨサ」と恋しくみこしを練った。
 (小林隆志)

2014
 10.13
 神戸新聞